

熊本大学・大阪市立大学における科学研究費補助金による
研究活動の不正行為について

1. 案件概要

平成25年5月、熊本大学に同大学大学院生命科学研究部 光山 勝慶 教授が、大阪市立大学在籍時及び熊本大学で執筆した論文において、ねつ造、改ざんを行ったとする申立があった。

これを受け、大阪市立大学（平成10年度～平成17年度）で執筆した論文7編及び熊本大学（平成18年度～平成24年度）で執筆した論文3編について、それぞれの大学で調査委員会を設置し調査を実施した結果、8編の論文（大阪市立大学7編、熊本大学1編）において、ねつ造、改ざんがあったことが認定され、これらすべての論文において責任著者であった光山教授の他、複数の研究者等（研究者1名、大学院生5名、研究員1名）が関与していたと判断された。

2. 調査経過等

(1) 熊本大学

平成25年	7月	3日	外部委員2名を加えた5名による調査委員会を設置（以降、平成27年2月までに委員会を計9回開催）
平成25年	8月	26日	大阪市立大学との合同調査委員会を設置（以降、平成27年3月までに委員会を計7回開催）
平成27年	3月	9日	総括報告書提出
平成27年	3月	20日	熊本大学・大阪市立大学合同記者発表

(2) 大阪市立大学

平成25年	8月	26日	熊本大学との合同調査委員会を設置（以降、平成27年3月までに委員会を計7回開催）
平成25年	9月	25日	熊本大学からの依頼に基づき、外部委員1名を加えた4名による調査委員会を設置（以降、平成26年6月までに委員会を計10回開催）
平成27年	3月	9日	調査報告書提出
平成27年	3月	20日	熊本大学・大阪市立大学合同記者発表

3. 調査結果の概要

【不正行為について】

(1) 光山 勝慶 熊本大学大学院生命科学研究部教授

(元 大阪市立大学大学院医学研究科)

- ① 光山教授が責任著者である8編の論文について、ねつ造、改ざんが行われた。
なお、熊本大学で執筆した論文は1編であるが、光山教授が不正行為に直接関

与したという事実は確認されなかった。

- ② 残りの大阪市立大学在籍時に執筆した7編については、光山教授が不正行為に直接関与したという事実は確認されなかった。これは、当該教授が大阪市立大学在籍時に主宰する研究グループ員（大学院生5名、研究員1名）が中心となり論文作成が行われたが、作成に際し必要なルール等の指導が当該教授から十分行われておらず、またチェック体制も、責任著者である当該教授が当然行うべき所を怠っていた事から、安易に画像のねつ造や流用が行われる環境であり、データの管理や画像の作成が著しく杜撰な状況となり、その結果不正行為に繋がったものである。

(2) 山本 英一郎 熊本大学附属病院助教

- ① 山本助教が筆頭著者である1編の論文についてデータのねつ造が行われ、山本助教が直接関与していた。

【研究計画調書及び研究費の支出について】

- ① 光山教授を研究代表者とする科学研究費補助金のうち、これらの論文が研究実績報告書または研究成果報告書に含まれたのは3課題であるが、大阪市立大学文書保存規程に基づく文書保存期間の経過により、同課題に係る各種経理関係書類が残存していないため、不正論文と直接関連のある支出を特定することは出来なかった。
- ② 山本助教を研究代表者とする科学研究費補助金のうち、これらの論文が研究実績報告書または研究成果報告書に含まれたのは1課題であるが、不正論文と直接関連のある支出はなかった。

(関係研究課題)

(1) 光山 勝慶 熊本大学大学院生命科学研究部教授

- ① ・研究課題名 MAPキナーゼファミリーの活性化機構と心血管障害における役割 – invivoでの検討 –
- ・課題番号 09670101
- ・研究種目 基盤研究(C)
- | | | |
|-----|--------|---------|
| 配分額 | 平成 9年度 | 1,800千円 |
| | 平成10年度 | 900千円 |
| | 計 | 2,700千円 |
- ・不正行為と直接関連がある支出 経理関係書類が残存していないため特定出来ない

- ② ・研究課題名 心血管病の分子機構とASK1の役割に関する研究
 ・課題番号 14570083
 ・研究種目 基盤研究（C）

配分額	平成14年度	2,200千円
	平成15年度	1,400千円
	計	3,600千円

- ・不正行為と直接関連がある支出 経理関係書類が残存していないため
 特定出来ない

- ③ ・研究課題名 血管新生、血管リモデリングの細胞分子薬理学的研究と
 創薬への応用
 ・課題番号 16590202
 ・研究種目 基盤研究（C）

配分額	平成16年度	2,100千円
	平成17年度	1,400千円
	計	3,500千円

- ・不正行為と直接関連がある支出 経理関係書類が残存していないため
 特定出来ない

(2) 山本 英一郎 熊本大学附属病院助教

- ① ・研究課題名 eNOSアンカップリングによる血管内皮機能障害の
 機序と病態への関与についての研究
 ・課題番号 22790712
 ・研究種目 若手研究（B）

配分額	平成22年度	2,340千円
	平成23年度	1,560千円
	計	3,900千円

- ・不正行為と直接関連がある支出 なし

4. 機関による措置

(1) 不正行為があったとされた論文の取り下げ

不正行為があった論文は、それぞれ責任著者において、すべて取り下げられている。

(2) 機関における処分の状況

光山 勝慶 熊本大学教授 停職1ヶ月（平成27年12月25日）
 山本 英一郎 熊本大学助教 厳重注意処分（平成27年12月25日）